

〈公開研究会〉

「新科目『公共』(仮称)を考える」

主催・日本社会科教育学会

現在、中央教育審議会において社会科・地理歴史科・公民科の新しい教育課程の議論が進められています。なかでも高校社会科(地理歴史科・公民科)の改訂が注目され、とくに新たに登場する「公共」(仮称)についてもようやく議論が開始されようとしています。「公共」は、18歳選挙権の法制化以前から政府により提唱されてきましたが、内容構成や方法については情報やイメージが出されないまま現在に至っております。本学会でも改めて「公共」を検討する必要を感じ、教育的・学的観点からの議論を進めるべきと考えております。緊急ではありますが、下記の公開研究会を開催いたします。会員、非会員問わず多くの方にご参加いただければと思います。

【日時】2016年1月30日(土)

14時～17時(受付13時30分から)

【場所】東京学芸大学・附属竹早小学校

(東京メトロ・丸ノ内線「茗荷谷」
駅から徒歩12分)

【研究会】

- ・「公共」を巡って 坂井俊樹(東京学芸大学)
- ・問題提起(各30分報告)

1. 公民科教育の観点から「公共」について考える。工藤文三(大阪体育大学)
 2. 現代の若者の公共性を考えるー「シャカイ圏」と民主主義の関わりー中西新太郎(横浜市立大学)
 3. 教室から見た高校生の姿と「公共」
渡部純(福島県立福島商業高校)
- ・閉会にあたって 森茂岳雄〈中央大学〉
司会 谷田部玲生(横浜桐蔭大学) 磯山恭子(静岡大学)

【連絡先】日本社会科教育学会事務局

jass.office@gmail.com



【交通案内】

- ・東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅 徒歩12分
- ・東京メトロ南北線・丸ノ内線 後楽園駅 徒歩15分
- ・都営地下鉄大江戸線・三田線 春日駅 徒歩15分